

高低差の処理を工夫する

基本的な考え方

①圧迫感の軽減と壁面のデザイン

高低差の処理の方法はいろいろあるが、道路景観を踏まえつつ、圧迫感を与えないように努める。

②植栽による修景

できる限り植物を持ち込んで、構造物のかたさをやわらげると共に、空間に潤いを与える工夫が必要である。

デザインメニュー

G-1土留と緩斜面による場合



土留壁を低くし圧迫感を緩和して、植栽により沿道空間に潤いを与える。



中央区

G-2多段型植栽スペースの確保



高低差を多段型に吸収して、植栽スペースを確保し、変化のある沿道景観を演出する。

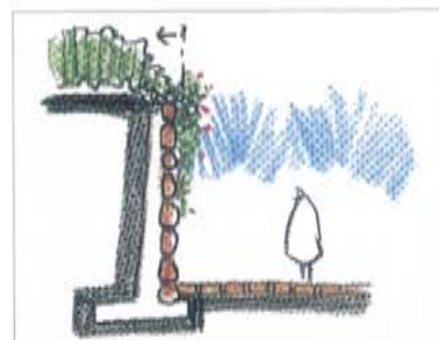


ATC



ふれあい港館

G-3擁壁による場合



高低差を擁壁によって垂直に吸収して、空間をダイナミックにしつつ、壁面デザインやツタ・地被類の植栽等により、固さをやわらげる。



ナイヤガラ



シンガポール

必要なフェンス等はデザインを工夫する

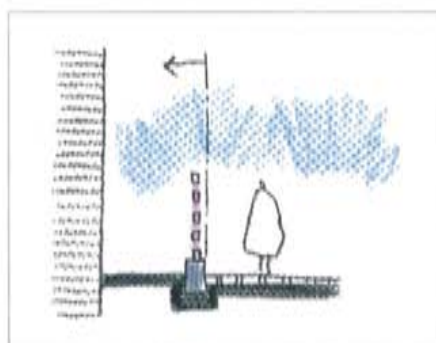
基本的な考え方

- ① 圧迫感をなくす
フェンス等をやむなく設ける場合は、周辺部に圧迫感を与えないよう配慮する。
- ② デザイン性を高める
まちをデザインする要素として、デザイン性のある透過性の高いフェンスの設置に心掛ける。
- ③ 植栽との併設
場所によっては植栽を添えることで、まちに潤いを与える。

デザインメニュー

H-1デザインされたフェンス

デザインされたフェンスを用い、メンテナンスも考慮してその場の雰囲気と調和した素材等を選定する。



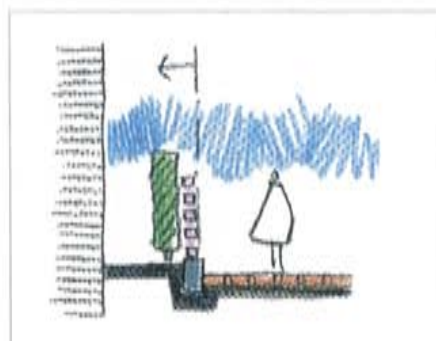
コペンハーゲン



ロンドン

H-2フェンスを意識させない植栽

フェンスの単純さを避けるための生垣や刈込んだ中木をそえる。



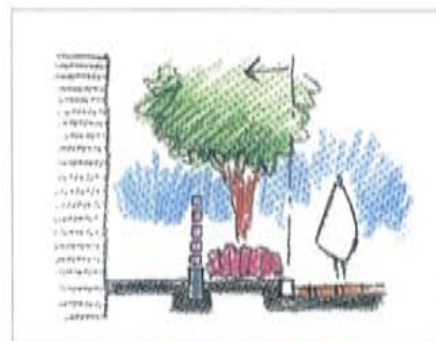
中央区



福岡小学校

H-3セットバックによる植栽

境界部よりセットバックしてフェンス等を設け、沿道部に植栽することで、ゆとりのある街並をつくる。



大宮西小学校



甲府球場

H-4塀とフェンスの組合せ

塀のもつ威圧感をやわらげ、かつ、閉鎖的なイメージにならないようにデザインフェンスと組合せる。

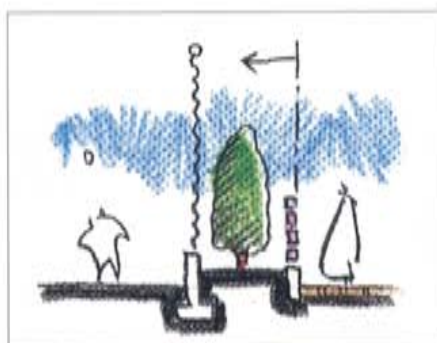


開平小学校



堀川小学校

H-5高尺フェンスの修景(1)



防球ネットはデザイン性に乏しく、圧迫感があるので、境界部よりできるだけセットバックして設け、デザインフェンス、中・高木植栽との併設が望ましい。



北鶴橋小学校

H-6高尺フェンスの修景(2)



防球ネットの接道部前面に中木やかん木の植栽を行うことで圧迫感をやわらげる。この場合は、内側に高木植栽をすることで緑量感を出すことが望ましい。



南港

III. 附帯施設の処理 (1)

駐車場をデザインする

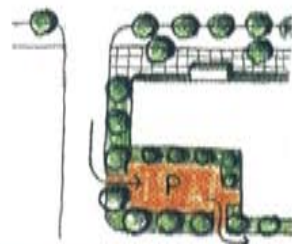
基本的な考え方

①バックヤードに設置

駐車場をオープンスペースに設ける場合はバックヤードに設けることが望ましく、景観を阻害しないように生垣や植え込み等で遮蔽する。

②潤いのある駐車場化

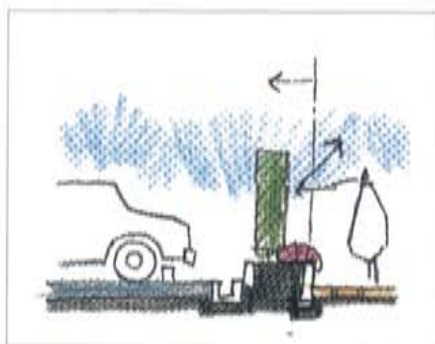
駐車場は貴重なオープンスペースとして、空間に潤いを与えるためにも高木の植栽や広場のデザインを積極的に行うことが望ましい。



デザインメニュー

I-1 植栽による遮蔽

外周部に目隠し機能をもたすことで修景効果を上げる。



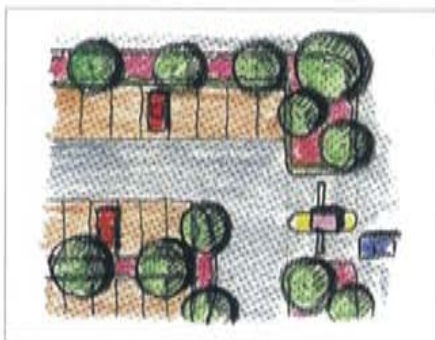
中央区



姫路市

I-2 空間に潤いを

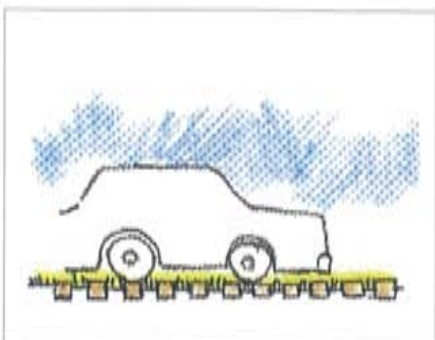
敷地内に高木及びかん木、地被を植栽することで空間に潤いを与える。



ハワイ

I-3 広場としてのデザイン

デザインされた舗装や舗装用緑化ブロックを用いることで空間に潤いを与える。



神戸市

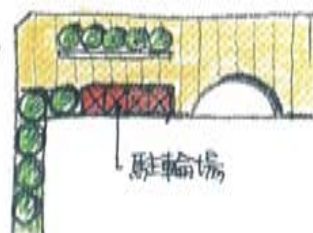


浦安市

駐輪場をデザインする

基本的な考え方

- ① エントランス近くに設置
自転車の散乱を防ぐため、できる限り建物のエントランスに近いところに設置する。
- ② 建物と一体化
建物と一体的に設置することが望ましい。
- ③ 遮蔽
景観や雰囲気を阻害する場合には、生垣や植栽で遮蔽する。
- ④ 上屋のデザイン
屋外に設ける場合は建物のデザインとの調和を図る。



デザインメニュー

J-1 建物との一体化

建物の一部に当初から駐輪場を附帯させることでオープンスペースをすっきりとさせる。



市大病院

J-2 上屋のデザイン

建物のデザインと調和を図り、質の高いものをめざす。



北区役所



阿波座センタービル

J-3 植栽による囲み

目隠し機能をもつ植栽をすることで、雑然とした雰囲気をやわらげる。



総合医療センター



中央区

設備関連施設をデザインする

基本的な考え方

①デザインの工夫

屋外空調設備、換気塔、電気室、ポンプ室等も、それ自体デザイン要素としてデザインを工夫する。

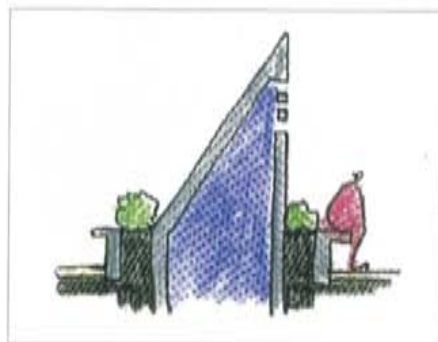
②遮蔽

景観や雰囲気阻害する場合には、生垣や植栽で遮蔽する。

デザインメニュー

K-1モニュメント化

モニュメント化およびサイン化をはかることによりデザイン要素として空間のアクセントとする。



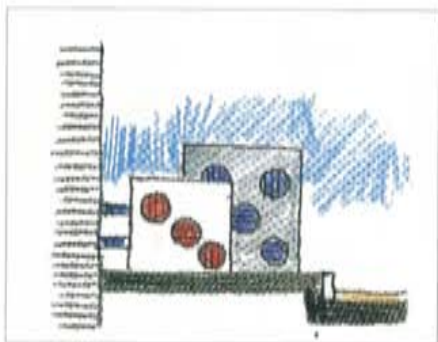
阿倍野区



中央区

K-2デザイン化

施設そのものをその場の雰囲気に合わせてデザインする。



中央区

K-3植栽との調和

目隠し機能をもつ植栽をすることで、雑然とした雰囲気をやわらげる。



中央区